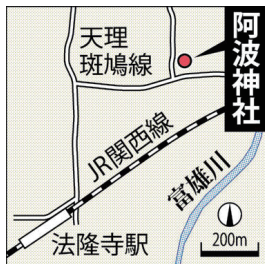




阿波神社本殿 斑鳩町阿波で



阿波神社 (斑鳩町)



阿波神社は富雄川の西側に鎮座しています。祭

境内の末社として、雨乞いの神とされる多度神

です。佐吉の

神は素佐之男命で、元は素佐之男神社と呼ばれていました。木造の鳥居には「素佐神社」の額が掲げられ、江戸中期に奉獻された常夜灯には牛頭天王と刻まれています。

社、長寿の神とされる多賀神社の他、野椎神社が鎮座しています。昔、野椎神社は阿波神社から南西に約600m離れた湯田ノ森と呼ばれる円形古墳の上に祭られており、小さいながらも温泉が湧き聖徳太子が湯あみをしたとの伝承もありま

本殿の水垣前に安置されている1対のこま犬の台座には、奉獻時期は不明ながら、「作師照信花押」と刻まれています。これは、時の孝明天皇より「日本一」と賞賛されたと伝わる石工・丹波佐吉の号で、1859(安政6)年に造られたと推定されています。佐吉の

作品に見られる、筋肉質でずんぐりとした体形、たてがみの巻き毛などの特徴を持つこま犬です。なお、神社の南側に聖徳太子の飽波葦垣宮があったと伝わっており、地名の「阿波」は、一説には「飽波」からの転訛ではないかといわれています。古代、この一帯は飽波郷に属したのかも

(住所) 斑鳩町阿波1の6の38
(祭神) 素佐之男命
(交通) JR法隆寺駅から北東へ徒歩約15分

(拝観) 境内自由
(駐車場) なし
(電話) なし

佐吉の「こま犬」お出迎え

(奈良まほろばソムリエの会会員 弘瀬典子)